

ご自由に
お取りください

TAKE FREE

梯 きざはし



特集

小児 救急

- 新任医師紹介
- 選定療養費・早期転院
- イベント報告
- ポケメド
- 登録医紹介
- 利用者送迎者敷地周辺シャトル運行のご案内



那覇市立病院の 小児救急 これまでとこれから

小児救急を未来へつなぐ

夜中にお子さんが突然熱を出したとき、「すぐ病院へ行くべきか」と不安に駆られた経験はありませんか。

那覇市立病院は1999年に急病センター(現・救急センター)を開設して以来、「24時間365日、子どもは小児科医が診る」という体制を長年守り続けてきました。体調を崩したお子さんと、不安な表情で駆けつけるご家族を支えること。それは地域の中核病院として、私たちが果たすべき大切な使命です。

しかし現在、小児医療を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

当院では2024年3月、医師の欠員が重なり、夜間診療の一部休止を余儀なくされました。その後も再開の道を模索し続けましたが、深刻な医師不足という現実の前に、自院だけで体制を維持することには限界があると判断せざるを得ませんでした。

背景には、沖縄が抱える構造的な課題があります。本県の小児人口10万人あたりの小児科医数は全国44位と低い一方で、夜間・休日の小児救急受診率は全国1位です。つまり、「小児科医が少ない地域でありながら、小児救急の需要は極めて高い」という大きな需給の不均衡がありました。

これまで当院の救急外来は、医師たちの強い使命感と懸命な努力によって維持されてきました。しか

し、個人の頑張り依存する体制は、誰か一人が倒れば地域医療全体が揺らいでしまう危うさを抱えています。私たちが目指すのは、特定の誰かに負担を背負わせる医療ではなく、地域全体で子どもたちを守る「持続可能な医療」です。

そのための大きな一歩として、このたび沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと「小児救急輪番制にかかる連携・協力に関する協定」を締結しました。

重症のお子さんを確実に受け入れる「最後の砦」としての機能をより強化するこの「小児救急輪番制」は、10年後、20年後の子どもたちにも質の高い医療を確実に残していくための前向きな挑戦です。

那覇市立病院は、地域のクリニックや沖縄県立南部医療センター・こども医療センターとの連携をさらに深め、切れ目のない地域医療ネットワークを築きながら、これからも地域とともに子どもたちの命を守り続けてまいります。

記者会見の様子(2026年4月8日)



地域で支え、守り抜く。小児救急の新しい仕組み 救急輪番制

限られた小児科医で地域の小児救急を将来にわたって守り続けるために、生まれた取り組みが**小児救急輪番制**です。

これは当院と沖縄県立南部医療センター・こども医療センターが曜日ごとに救急受け入れを分担し、地域全体で子どもたちの命を支える仕組みです。

これまでの救急外来には急を要しない患者さんも多く受診し、重症患者さんへの対応に影響が出かねない状況がありました。この体制を見直し、必要な医療を必要な方に確実に届けることを目的としています。

夜間・休日にお子さんが体調不良の際は、まず#8000やオンライン診療でご相談ください。オンライン診療で救急受診が必要と判断された場合は、当日の輪番担当病院を受診していただきます。

輪番制は夜間・休日の救急受診を対象とした仕組みですが、以下の場合にはこれまで通り24時間365日受け入れます。

- クリニックから紹介状をお持ちで、入院や精密検査が必要と判断された方
- 当院かかりつけで、持病が悪化した方

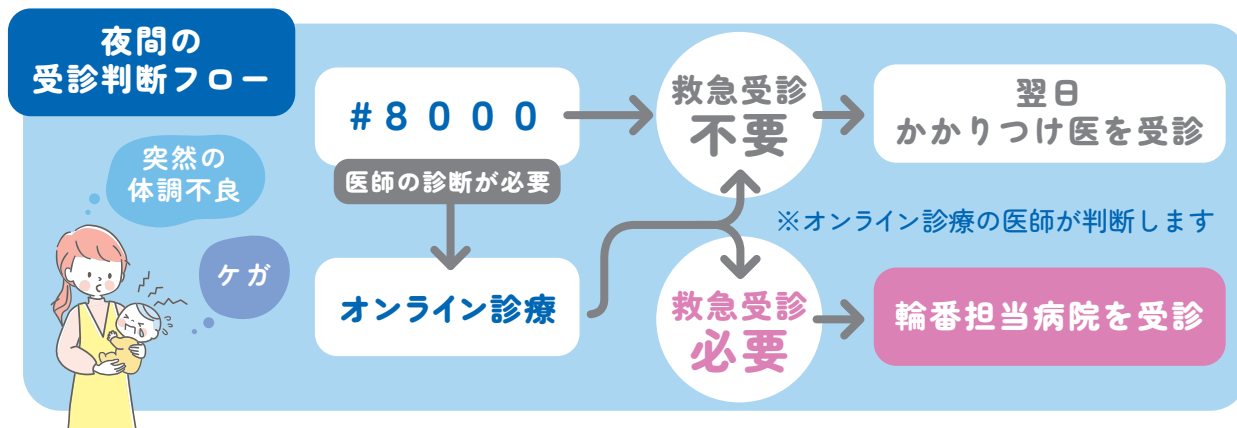
当院が地域の中核病院として担う「最後の砦」の役割はこれからも変わりません。

ご不便をおかけしますが、那覇・南部地域の子どもたちが将来も最善の医療を受けられる体制を守るための取り組みです。今後も地域全体で命を守る救急体制づくりを進めてまいります。

輪番担当曜日 那覇市立病院の小児救急は、水・金・日が輪番日です。

月 MON こども医療センター	火 TUE こども医療センター	水 WED 当院担当日 那覇市立病院	木 THU こども医療センター	金 FRI 当院担当日 那覇市立病院	土 SAT こども医療センター	日 SUN 当院担当日 那覇市立病院
--------------------	--------------------	--------------------------	--------------------	--------------------------	--------------------	--------------------------

※輪番日以外の日は、こども医療センターへ受診お願いいたします。
※ゴールデンウィークや年末年始などの長期連休は、両病院で対応します。



おうちでドクターに相談！ オンライン診療を活用しよう



医師不足と救急需要の増加という沖縄の課題に対応するため、私たちが推進しているのが「オンライン診療」です。

夜間に体調を崩したお子さんを前に、不安を感じるのは当然です。しかし、救急外来を受診したお子さんは、翌日まで様子を見る事が出来るケースがほとんどです。

こうした状況を改善し、本当に緊急性の高い患者さんを確実に救うために、「まず相談する」仕組みとしてオンライン診療を活用します。

オンライン診療では、自宅からスマートフォンで医師の診察を受けることができ、「すぐ受診すべきか」「朝まで様子を見てよいか」を判断してもらえます。これにより、夜間の移動や人から感染する心配を減らしながら、安心して対応することができます。

また、事前に緊急度の判断が行われることで救急外来の混雑が和らぎ、医師が重症患者の対応に集中できる体制につながります。

「まずはオンラインで相談する」

その一歩が、子どもたちに必要な医療を確実に

届け、沖縄の小児医療を支える大きな力になります。

キッズドクター




健康保険・子ども医療費助成が適用されます。
看護師へのチャット相談は3カ月に3回まで無料。

オンライン診療で期待できること

患者さんにうれしいこと

- 自宅で医師の診察を受けられる
- 通院の手間や移動時間・交通費がかからない
- 待ち時間も自宅で過ごせる
- 感染リスクの低減



医療機関に良いこと

- 軽症の受診が減り、救急外来の混雑が緩和される
- 緊急性の高い患者さんにしっかり対応できる

地域医療全体を
守ることにつながる



未来の子どもたちのために、 私たちが今できること



小児救急医療は、地域の皆さまと共に守る「公共の財産」です。医師に過度な負担をかけず、子どもたちがいつでも適切な治療を受けられる環境を維持するために、今、皆さまにご協力いただきたいことがあります。

1つ目は、地域の「かかりつけ医」を活用しましょう。日中の診療時間内にお子さんの日頃の状態をよく知る先生に診てもらうことが、最も安全で確実な医療です。夜間の救急外来はあくまで「命に関わる緊急事態」のための場所であり、日中の診療の代わりではない事をご理解ください。

2つ目は、救急受診前に「#8000(小児救急電話相談)」やオンライン診療を活用しましょう。「まずは相談する」という一歩が、救急外来の混雑を防ぎ、本当に緊急の患者さんを守ることにつなが

ります。

3つ目に、救急受診の際は「その日の当番病院」を確認し、受診していただくことです。輪番制では、曜日ごとに受け入れ病院が決まっています。日によって受診先が変わるためご不便をおかけしますが、当番病院に医療スタッフを集中させることで、より安全で確実な診療体制を保つことができます。

沖縄の小児医療は、今まさに正念場にあります。しかし、私たちは諦めていません。病院同士の連携、デジタルの活用、そして市民の皆さまの適切な受診行動。これらが組み合わさることで、より持続可能な医療体制を築くことができます。

持続可能な小児医療のための3つのポイント

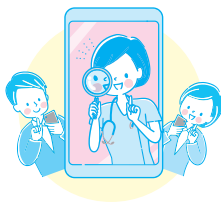
1



かかりつけ医

まずは身近な先生に
相談する

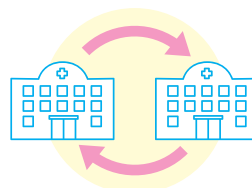
2



ツールの活用

オンライン診療や
#8000を活用する

3



輪番制への理解

那覇市立病院とこども医療
センターの輪番日を知る

子どもたちの笑顔未来へつなぐために。

那覇市立病院は、地域の皆さまと手を取り合いながら、

新しい小児救急の形を共に創り上げていきたいと考えています。

詳細は当院
ホームページ
でもご確認い
ただけます。



新たに当院へ着任した医師を
ご紹介します

新任医師紹介



集中治療科
おかだ しょういち
岡田 祥一 医長

以前は心臓血管外科として診療を行っていましたが、この度、より幅広く、より多くの患者様の診療に関わりたいという思いが強く、前から兼務していた集中治療科として皆様のお力になれば幸いです。



整形外科
ごや いそや
呉屋 五十八 医長

琉大整形外科に入局し県内と北海道の病院で研鑽を積んできました。専門は肩関節です。スポーツ、特に野球が好きでこの道に進みました。肩の痛みでお困りの方に、やさしく分かりやすい診療を心がけています。よろしくお願いいたします。



内科
みね たけし
三根 毅士 医長

生まれ育った千葉県で20年間働き、家庭の事情により沖縄へ引越してきました。ピアノを弾く事が好きです。胃カメラや大腸カメラで腫瘍を切除する事が専門です。辛くない内視鏡検査を目指し日々奮闘しています。



内科
やまうち まりの
山内 まり乃 医師

那覇市立病院で初期研修を行い、琉球大学病院で腎臓内科医として勤務してまいりました。縁ある当院でまた働くことができ、大変嬉しく思います。地域の皆様のお役に立てるよう努めます。



内科
かて かる ももこ
嘉手苺 桃子 医師

沖縄県浦添市出身。京都で初期研修後、兵庫県立尼崎総合医療センターで内科医として勤務してまいりました。地元に戻り、内科医として地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



内科
なかむら かずき
中村 一希 医師

沖縄県南城市出身。沖縄協同病院で総合内科医として勤務してまいりました。今年より那覇市立病院の腎臓・リウマチ内科に着任しました。これまでの経験を生かし、患者さんの症状だけでなく心にも寄り添う診療を心がけてまいります。



麻酔科
あらかき ゆうた
新垣 裕太 医師

沖縄県北谷町出身。琉球大学病院麻酔科入局後、那覇市立病院、沖縄県立中部病院、琉球大学病院を経て那覇市立に約6年ぶりに戻ってきました。趣味はテニスです。安全な麻酔管理を心がけてまいります。よろしくお願いいたします。



小児科
なかむら さき
中村 早希 医師

はじめまして。今年度から那覇市立病院で勤務させていただきますことになりました。小児医療に貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



眼科
ちねん ひさえ
知念 央恵 医師

沖縄県出身、大学時代は福岡で過ごしました。今年度より那覇市立病院眼科担当させていただきます。患者様の力になれるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



総合診療科
やすとみ だいご
安富 大悟 医師

名護市出身、名護高校、琉球大学卒業。当院にて初期・後期研修後、北海道で外来・訪問診療や緩和ケアに従事。その中で神経内科の必要性を実感し研鑽。国立沖縄病院勤務を経て当院復職。専門は家庭医療(総合診療)、神経内科にも取り組んでいます。宜しく申し上げます。



内科 専攻医
おおしろ あさこ
大城 朝子 医師

沖縄県糸満市出身。那覇市立病院で初期研修を終了し、引き続き内科専攻医として那覇市立病院に勤務させていただくことになりました。患者様の気持ちに寄り添った診療ができる医師になれるよう精進してまいります。宜しく申し上げます。



内科 専攻医
とみたちあき
富田 千晶 医師

沖縄県那覇市出身。この度初期研修を修了し、2026年度より那覇市立病院で内科専攻医として勤務させていただくこととなりました。地域に貢献できるよう日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



内科 専攻医
みやもと
宮本 てん 医師

沖縄県宜野湾市出身。那覇市立病院での初期研修終了後、中頭病院へ勤務し再度那覇市立病院へ戻って来ました。丁寧でわかりやすい説明を行い納得した検査・治療を行えるよう心がけております。よろしくお願いいたします。



内科 専攻医
おおしろ きょうすけ
大城 匡恭 医師

沖縄県西原町出身。ハートライフ病院で初期研修終了後、内科専攻医として那覇市立病院に勤務することになりました。趣味はサッカーです。早く1人前になって那覇市立病院の内科に沢山貢献できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



内科 専攻医
やぎ しょうたろう
屋宜 尚太郎 医師

沖縄県糸満市出身。当院で初期研修終了後、日本海総合病院(山形県)で内科専攻医として3年間研修し再度当院でお世話になります。1日でも早く力になれる様診療業務を行いますので何卒宜しくお願いします。



小児科 専攻医
おおしろ けんじ
大城 健嗣 医師

初期研修医として2年間勤務し那覇市立病院で、引き続き小児科医として勤務することになりました。小児科医として新たな一歩をこの病院で踏み出せることを嬉しく思います。地域の子供達と家族に寄り添い、学びながら成長してまいります。



整形外科 専攻医
おおしろ ひかり
大城 光生 医師

整形外科の大城光生と申します。松島小学校、松島中学校、首里高校出身であり、那覇市立病院の近くで育ってきました。地元へ貢献できるよう日々努力いたします。よろしくお願いたします。



放射線科 専攻医
とうやま こうへい
當山 晃平 医師

沖縄県中城村出身。沖縄赤十字病院で初期研修をしました。琉球大学放射線科入局後、一年目を琉球大学で過ごし、二年目で那覇市立病院に異動となりました。より正確な画像診断を行えるように日々勉強していきます。よろしくお願いたします。



外科 専攻医
さとう わたる
佐藤 亘 医師

広島県尾道市出身。琉球大学を卒業し、中頭病院で初期研修を修了しました。その後琉球大学病院第二外科に入局し、専攻医2年目です。趣味は料理と酒です。患者様に寄り添った診療をしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



腎・泌尿器科 専攻医
やまもと ようすけ
山本 洋介 医師

福岡県福岡市出身。琉球大学卒業後、沖縄県立中部病院で初期研修を終了。今年から泌尿器科で勤務させていただくこととなりました。沖縄の医療に貢献できるよう努力してまいります。



初期研修医
きんじょう はなこ
金城 華子 医師

沖縄県浦添市出身。琉球大学卒業。好きな時間は、晴れた日に散歩をしている時間です。大学では幼少期から習っているバレエを続けていました。患者さんから学ぶ姿勢を忘れないよう心がけてまいります。よろしくお願いいたします。



初期研修医
ともり とうや
友利 斗哉 医師

沖縄県浦添市出身。琉球大学卒業。趣味は野球などのスポーツ観戦です。色々ご迷惑をおかけすると思いますが、様々な症状に寄り添う診療を心がけ、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



初期研修医
きんじょう しんじゅ
金城 真樹 医師

沖縄県沖縄市出身、琉球大学40期卒業生。4月から初期研修医としてお世話になります。金城真樹と申します。趣味は愛犬を鑑賞することです。不慣れなことが多くご迷惑をおかけするかもしれませんが、少しでも戦略になれるよう精進してまいります。



初期研修医
しもじりん
下地 凜 医師

沖縄県出身。琉球大学を卒業いたしました。大学では軽音学部に所属し、主にベースを担当しておりました。まだまだ未熟ではありますが、日々学びながら成長できるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。



初期研修医
しろまりん
城間 琳 医師

沖縄県西原町出身。大学時代はダンス部に所属し、KDMという大会では3年連続優勝を経験しました。患者さん一人ひとりの声にしっかり耳を傾け、安心して相談していただける診療を心がけてまいります。よろしくお願いたします。



初期研修医
つだ たかし
津田 貴志 医師

富山県富山市出身。社会人経験を経て琉球大学を卒業。学生時代は那覇の居酒屋めぐりが趣味でしたが、在学中に結婚して父となり、今では妻と子どもと遊ぶことが一番の楽しみです。ウチナーグチ、まだまだ勉強中です。よろしくお願いいたします。



初期研修医
にしせき とうこ
西関 瞳子 医師

はじめまして。初期研修医としてお世話になります。沖縄県出身の西関瞳子です。趣味は水族館に行くことで、特にイルカが好きです。まだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



初期研修医
おおしろ まお
大城 真緒 医師

沖縄県出身、琉球大学を卒業いたしました。大学ではバドミントン部に所属しておりました。趣味は読書と映画鑑賞です。まだまだ未熟ではございますが、1日でも早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願いたします。



初期研修医
みやくに じゅんか
宮國 順花 医師

沖縄県出身、昭和薬科大学附属高校、琉球大学を卒業しました宮國順花と申します。大学ではダンス部に所属していました。趣味は旅行です。色々ご迷惑かけるとは思いますが、1日でも早く仕事を覚え、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いたします。



初期研修医
やまかわ てっぺい
山川 哲平 医師

沖縄県浦添市出身。琉球大学40期生です。趣味はハンドボールと将棋です。医師としての自覚を持ち、患者さんに寄り添った医療を提供していけるよう頑張ります。御指導御鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

救急センター受診時にも

時間外選定療養費 **7,700円** (税込) が

かかります(診療費別)

「時間外選定療養費」とは、緊急受診の必要性が低いと判断された方にご負担いただく費用です(診療費とは別にかかります)。

当院は救急病院として沖縄県から指定を受け、重症患者の救命・治療を最優先に担っています。限られた救急医療資源を必要な方へ届けるため、この制度へのご理解とご協力をお願いいたします。

※救急車で来院の場合でも、軽症と判断した際はご負担いただきます。



詳細は当院ホームページをご確認ください。



地域医療機関との連携による 早期転院について

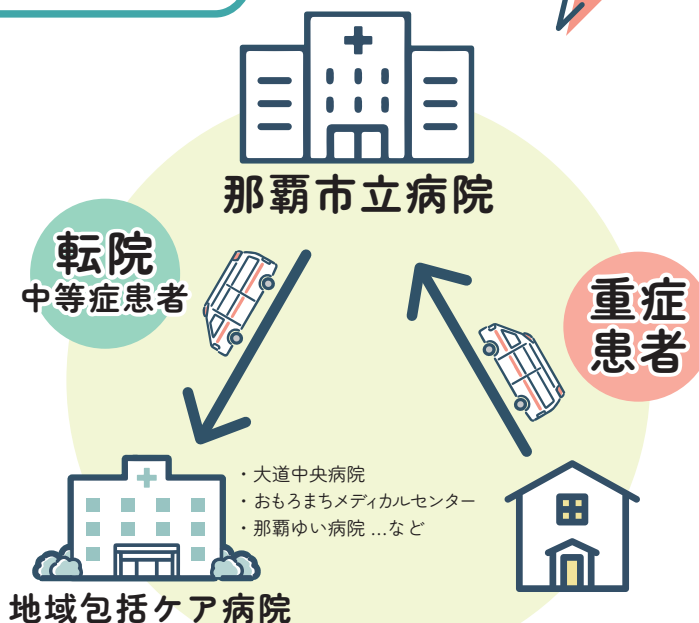
那覇市立病院は、手術やがん治療、カテーテル治療などの高度急性期医療を担う病院として、地域の医療機関と役割分担を行いながら診療を行っています。

そのため、地域包括ケア病棟等での治療が適している場合には、入院後早期に地域の医療機関への転院をお願いすることがあります。

転院にあたっては診療情報を十分に共有し、安心して治療を継続できるように引き継ぎを行います。

地域医療連携の推進のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

救急医療体制の
役割分担



おきなわ国際協力交流フェスティバル2025へブースを出展しました



2025年11月16日(日)、JICA沖縄で開催された「おきなわ国際協力交流フェスティバル2025」にブースを出展しました。当日は、親子連れやJICA研修員をはじめ、多国籍の来場者で会場は大いに賑わっていました。

当院のブースでは、外国人患者受入れの取り組みや、医療現場における日本と海外の違いについてポスター展示を行いました。また、胸骨圧迫の方法やAEDの使用方法を体験できるコーナーも実施しました。来場者の中にはポスターに興味を持ち、積極的に質問される方もいらっしゃいました。体験型のAEDを用いた胸骨圧迫は特に人気が高く、子どもたちを中心に多くの来場者が参加し、熱心な表情で取り組む姿が印象的でした。

イベント全体では、多国籍ランチの提供や

各国のダンス披露なども行われ、国際交流を体感できる有意義な機会となりました。今回は初めての出展でしたが、救急センター看護師や事務職員の協力により、充実したブースを作り上げることができました。今後も機会があれば参加し、当院の取り組みを知っていただくとともに、地域の皆様との交流をさらに深めたいと考えています。



日本 × ネパール相互理解セミナーを開催しました



当院では去る2月2日、異文化理解を目的として沖縄ネパール友好協会より講師をお招きし、「日本×ネパール相互理解セミナー」を開催しました。県内在住の外国人の中で最も多いのがネパール出身者であり、当院でも多くのネパール出身の患者さんが受診されています。そこで、日本とネパールの文化や価値観の違いを切り口に、「医療を受ける側」と「医療を提供する側」双方の視点から、円滑なコミュニケーションのコツについて学びました。

セミナーでは、ネパールで「はい」を表す際に頭を横に傾けるジェスチャーが使われることがあるなど、文化の違いに触れながら、相手を理解することは違いを理解することでもあると気づかされました。参加者からは「自分の“当たり前”が相手にとっては当たり前ではないと気づい

た」といった声も寄せられました。また、外国の方にとって医療用語は難しいことが多いという言葉の壁についても改めて考えさせられ、やさしい日本語で説明することが、すべての患者さんが安心して受診できる医療環境づくりにつながることを再認識しました。

当院では今後も、多文化共生とインクルーシブ社会の実現に向け、医療の面から貢献できるよう努めてまいります。



スマホひとつで、 通院がもっと便利に。

患者様サポートアプリ

PokeMed

— ポケメド —



患者サポートアプリ **ポケメド** 導入のお知らせ

このたび当院では、患者様により安心して便利にご利用いただけるよう、

患者サポートアプリ **ポケメド** を導入いたしました。(令和7年11月11日より運用開始)
スマートフォンひとつで、これまでの通院よりスムーズで快適な受診環境をご提供いたします。
ぜひご活用ください。

ポケメドで、こんなに便利になります



混雑を避けて
快適な通院を
サポート



家族の受診を
管理して
ストレス軽減



かんたん操作で
ラクラク受診



主な機能

モバイル診察券

スマホで診察券を表示。家族分もまとめて管理できます。

診察待ち人数表示

待ち人数が確認でき、順番が近づくとも通知が届きます。

デジタル問診

来院後にスマホやタブレットで問診入力ができます。

医療費後払いサービス

会計待ちなしで帰宅可能。後日アプリでお支払いできます。

診療費お支払い履歴

診療費の履歴や領収書をアプリで確認できます。

お知らせ受信

受診前の案内や休診・代診情報をスマホで確認できます。

WEB予約

coming soon

ポケメドの登録方法や詳しい機能については、当院ホームページでもご紹介しています。



ポケメドは無料でご利用いただけます。QRコードからアプリをダウンロードして、ぜひご活用ください。

ポケメドアプリをダウンロード

右のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取るとアプリストアからポケメドアプリがダウンロードできます。インストールが完了するとホーム画面にアプリが表示されますので、アプリを起動させてください。

📷 QRコードを読み込むと、ダウンロード画面が表示されます。

iOS版



Android版





登録医紹介

当院の連携登録医を紹介しています

当院は病診連携を一層推進するために登録医制を設けております。

お問い合わせは地域医療連携室まで！ TEL.098-884-5134(直通) FAX.098-886-5502

さくもと歯科クリニック

診療科目

- 一般歯科
- 小児歯科
- 口腔外科
- 小児矯正

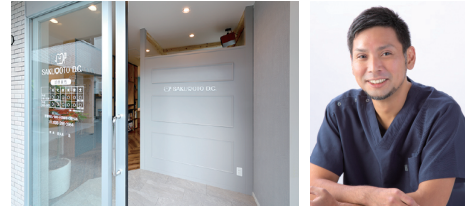


受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	○	○	○	/	○	○	/	/
14:00~18:00	○	○	○	/	○	○*	/	/

休診日：木曜日、日曜日、祝祭日

*土曜日は17:30まで診療

*祝祭日のある週は木曜日が振替診療



院長 佐久本 圭

この度、生まれ育った那覇市繁多川で開業することとなり、とても嬉しく思っております。私の師匠から教わった言葉に「口は長寿の門」という言葉があります。つまり口が健康長寿の要だということです。“健口寿命”を伸ばす、歯を長持ちさせるには、小児のうちからの予防がとても大切と言えます。成人の生活習慣病に口腔環境が影響することも知られてきました。そして何よりも、おいしくごはんが食べられる！歯を見せて笑える！という事が健康と言えるでしょう。皆様のお口の健康に一役買わせていただけたら幸いです。『小さなお子さまから高齢の方までが気軽に通える、長く通える、居心地の良いクリニック』を目指して、小児の予防治療から高齢者の訪問診療まで幅広い年齢層に歯科医療を提供し、繁多川の地域医療に貢献していきたいと思っております。

住所／沖縄県那覇市繁多川5-17-20

TEL.098-996-3964

仲本内科・小児科

診療科目

- 内科診療
- 風邪診療
- 小児科診療
- 各種健康診断/予防接種
- 各種検査
- 自由診療
- 院内処方



内科受付時間

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/	/
14:00~17:30	○	○	○	/	○	/	/	/

休診日：木曜午後、土曜午後、日曜日、祝祭日

小児科受付時間

受付時間／曜日	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	/	/

休診日：木曜日、日曜日、祝祭日



院長 仲本 昌文

はじめまして、院長の仲本昌文です。
令和6年4月より副院長として診療を開始し、令和7年4月に院長を引き継ぎました。
私はこの地域で生まれ育ち、父が地域で開業医として活動する姿を見て、地域医療や信頼関係の大切さを学びました。救急医療や重症コロナ感染症の現場での経験から、迅速で丁寧な対応を心掛けています。
当クリニックでは、発熱から慢性疾患まで幅広い診療を行い、患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供しています。地域の皆様が気軽に相談できる場所を目指し、予防や健康管理、急な体調不良にも対応いたします。
引き続き、父が築いたクリニックを守り、地域の健康を支えていきます。よろしくお願いいたします。

住所／沖縄県那覇市銘苅3-15-3

TEL.098-860-1835

利用者送迎車 敷地周辺シャトル運行のご案内

那覇市立病院では、下記乗降場所をシャトル運行する利用者送迎を行っています。乗降場所近くの警備員へお声かけの上、ご利用ください。運行時間は9:00~16:30(平日のみ)です。

乗降場所 ①新病院棟2階救急センター入口前駐車場 ↔ ②ゆいレール市立病院前駅舎下階段付近



今後の旧病院棟 解体スケジュール

